

令和7年5月

皋

月

あ お ぞ ら

第411号

鹿屋市青少年育成センター

鹿屋市 共栄町20-1 TEL 31-1138
(鹿屋市教育委員会 生涯学習課)

「表彰で自信を高めるきっかけに」

鹿屋市立 高隈小学校 校長 水本 賢一

鹿屋市美育協会会長として、リナシティかのやで行われた第43回鹿屋市美術展ジュニア部門表彰式に参加した。応募総数379点の中から見事特別賞受賞者に選ばれた児童生徒に賞状を手渡した。表彰式には、受賞する児童生徒の他に、会場に入りきれない程多くの保護者や祖父母と見られる方々、担任の先生等も来場して、受賞する子どもたちを誇らしげに見守っていた。賞状を受け取る子どもたちの顔は、大勢の前でもらう緊張と受賞の喜びが混じった表情に見えた。

子どもたちにとって、絵画であれ、作文であれ、スポーツであれ、表彰されるということは特別なことだ。自分の才能が認められ、自分の将来の可能性が広がる瞬間になることもある。自分に自信を持ち、生活態度が前向きになり、あらゆる領域で成長する引き金になることもある。担任だった頃、表彰をきっかけに目覚ましい成長をする子どもを目の当たりにしてきた。

その一人が、力士となり、2年前から私宛に相撲番付表を毎場所送ってくれるようになった。彼は県図画作品展6年生の部で入選したことから自分の画力に自信を付け、授業をはじめ学校生活に目に見えて前向きに取り組むようになった。作品の指導に当たった私に感謝の気持ちからか卒業の際、手作りの鉛筆立てをプレゼントしてくれた。その後、高校では相撲部に入り、絵を描くのが好きな相撲部員としてテレビで紹介されていたのを見たことがある。大学も相撲部が有名な大学に進学していたが、優しい性格の彼がまさか力士になるとは想像だにしなかった。小学校卒業以来会っていなかったのに、突然番付表が届いたときには驚きと同時に覚えてくれていたことへのうれしさを感じた。

教え子は、埼玉県草加市にある追手風部屋に入門した。大栄翔や翔猿、遠藤など人気力士が多い相撲部屋だ。YouTubeの動画で、早朝から厳しい

稽古を付けてもらっているのを見たことがある。彼の名前は番付表の序二段にある。給料がもらえる関取になるまでにはまだまだ壁は多い。番付表のお礼に鹿児島のお菓子を送ったことがある。教え子から、お礼の電話があり、「稽古は大変ですけど頑張っています。これからも応援よろしくお願いします。」という、力士としての覚悟を決めた頼もしい言葉を聞いた。夢と希望を持って角界で生きていくことを決めた若者の将来が楽しみだ。

自分が認められていると自覚した子どもは、自分に自信を持ち、何事にも前向きな姿勢が見られるようになることが多い。しかし、自分にどんな長所や才能があるか分からない場合も多いだろう。認めるのは、友達であり、大人たちであり、社会だ。子どもたちの可能性を見つけ、認める場をたくさん用意してあげたい。認められるためには、それなりの努力と謙虚さと挫折したときもくじけない強い心が大切で、その気持ちを育ててあげることも忘れてはならないだろう。

